

# 機器接続マニュアル



## 機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

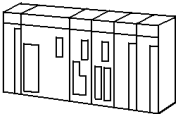



## 2.15 和泉電気(株)製 PLC

### 2.15.1 システム構成

和泉電気(株)製 PLC と GP を接続する場合のシステム構成を示します。

< 結線図 > は 2.15.2 結線図をご参照ください。

FA シリーズ (リンク I/F 使用)

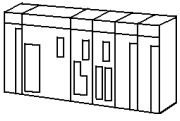


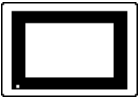
| CPU   | リンク I/F   | 結線図  | 使用可能ケーブル                           | GP  |
|---|---|--|------------------------------------|---|
|  | シリアルインターフェイスモジュール  |  |                                    |  |
| PF3S-CP12,<br>PF3S-CP13   | PF3S-SIF2   | RS-232C<br>< 結線図1 >  | 和泉電気(株)製<br>PF3S-KS1 <sup>*1</sup> | GPシリーズ  |
|   | PF3S-SIF4   | RS-422<br>< 結線図2 >   |                                    |   |

\*1 GP-270、GP-370、GP-377、GP-377R、GP-2300 には、コネクタサイズのサイズ上使用できません。



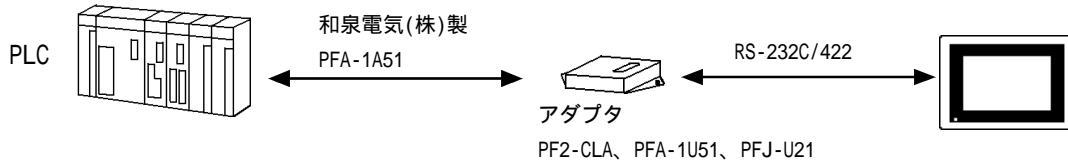
- PF3S-SIF2(4)は、電源投入後RUN状態になるまでメモリパックの容量が1Kステップ時は約1秒、4Kステップ時は約4秒かかるため、GPでスタートタイムの設定が必要です。使用するメモリパックにあわせてスタートタイムの設定を行ってください。参照 各GPシリーズユーザーズマニュアル「システム環境の設定」
- RS-422 と表記してあるところは、PLC側がRS-485の場合も使用できます。

FAシリーズ(CPU直結)

| CPU <sup>*1</sup>   | アダプタ <sup>*2</sup>  | 結線図  | 使用可能ケーブル  | GP  |
|---|---|--|---|---|
|  |  |  |   |  |
| PF2-CPU1,<br>PF2-CPU5M,<br>PF2J-CPU1,<br>PF3S-CP11,<br>PF3S-CP12,<br>PF3S-CP13    | PF2-CLA<br>PFA-1U51   | RS-232C<br><結線図3>  | 和泉電機(株)製<br>PFA-1A52形コンピ<br>ュータケーブル <sup>*3</sup> | GPシリーズ  |
|   | PFJ-U21   | RS-422<br><結線図4>   |   |   |

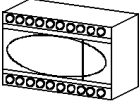



\*1 プログラミングローダポートに接続します。

\*2 プログラミングローダポートとアダプタとを和泉電気(株)製PFAリンクケーブルPFA-1A51(30cm)で接続する必要があります。



\*3 GP-270、GP-370、GP-377、GP-377Rには、コネクタサイズのサイズ上使用できません。

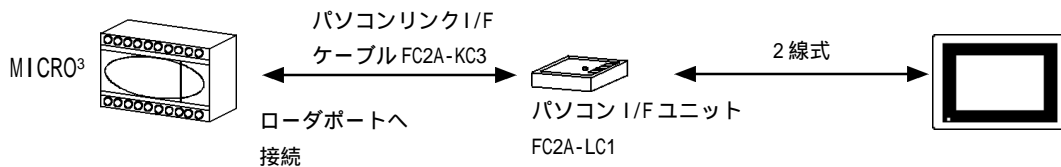
MICRO<sup>3</sup>(マイクロキューブ)(CPU直結)

| CPU   | アダプタ  | 結線図  | 使用可能ケーブル  | GP  |
|---|---|--|---|---|
|  |  |  |   |  |
| MICRO <sup>3</sup>  |   |  | パソコンリンクI/F<br>ケーブル<br>FC2A-KC1 <sup>*4 *5</sup> | GPシリーズ  |
|   | パソコンI/Fユニッ<br>ト FC2A-LC1 <sup>*6</sup>  | RS-422<br><結線図5>   |   |   |

\*4 通信ケーブルは和泉電気(株)専用パソコンI/Fケーブルを使用してください。

\*5 パソコンI/FケーブルFC2A-KC1使用時には、GP側はRS-232C通信になります。

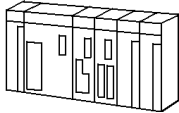



\*6 パソコンI/FユニットFC2A-LC1とPLCを和泉電気(株)製パソコンリンクI/FケーブルFC2A-KC3で接続する必要があります。



・RS-422と表記してあるところは、PLC側がRS-485の場合も使用できます。



## オープンネットコントローラ FC3 シリーズ

| CPU   | リンク I/F  | 結線図               | 使用可能ケーブル  | GP/GLC  |
|---|--|-------------------|---|---|
|  |  |                   |   |  |
| FC3A-CP2K<br>FC3A-CP2S  | CPUモジュール上の<br>RS-232Cポート1<br>CPUモジュール上の<br>RS-232Cポート2                             | RS-232C<br><結線図7> | 和泉電気(株)製<br>HG9Z-XCM12 (2m)<br>FC2A-KP1C (2.4m) <sup>*1</sup><br>FC4A-KP2C (5m) <sup>*2</sup> | GPまたは<br>GLCシリーズ  |
|   | CPUモジュール上の<br>RS-485ポート  | RS-422<br><結線図10> |             |   |

\*1 本ケーブルはGP側をユーザ様で加工する必要があります。

\*2 本ケーブルはGP側をユーザ様で加工する必要はありません。

## 2.15.2 結線図

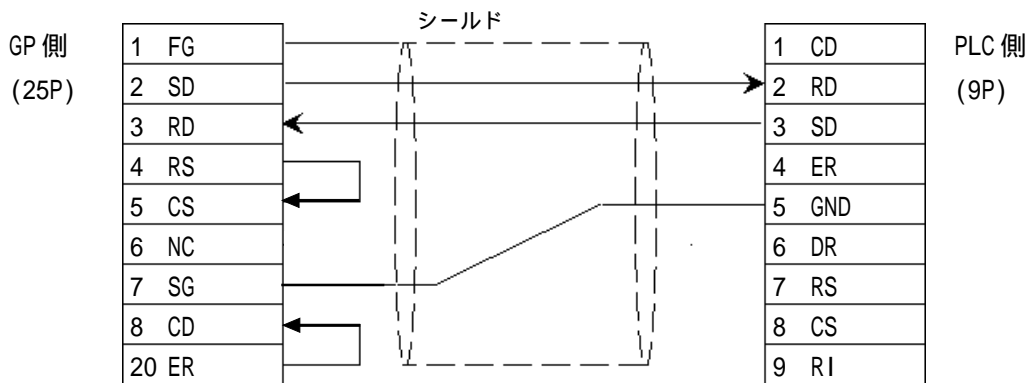
以下に示す結線図と和泉電気(株)の推奨する結線図が異なる場合がありますが、以下に示す結線図でも動作上問題はありません。

**強制** ・ PLC本体のFG端子は、D種接地を行ってください。

- 重要** ・ シールド線へのFGの接続は、設置環境によってPLC側、GP側のどちらかを選択してください。(結線例はPLC側に接続した場合の図です)
- ・ 通信ケーブルを結線する場合は、必ずSGを接続してください。

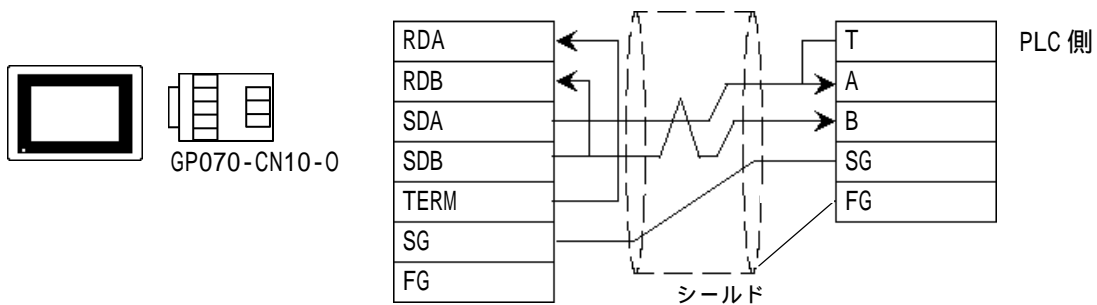
### < 結線図 1 > RS-232C

- 重要** ・ ケーブル長は15m以内に行ってください。

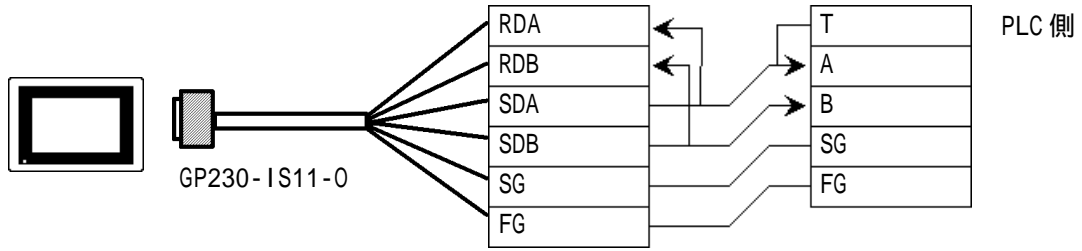


### < 結線図 2 > RS-422

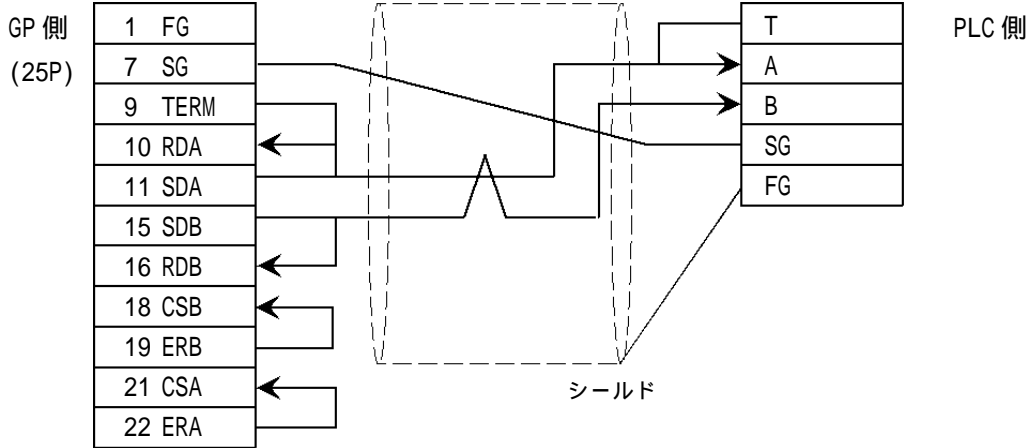
- ・ (株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



- ・ ケーブルを加工する場合

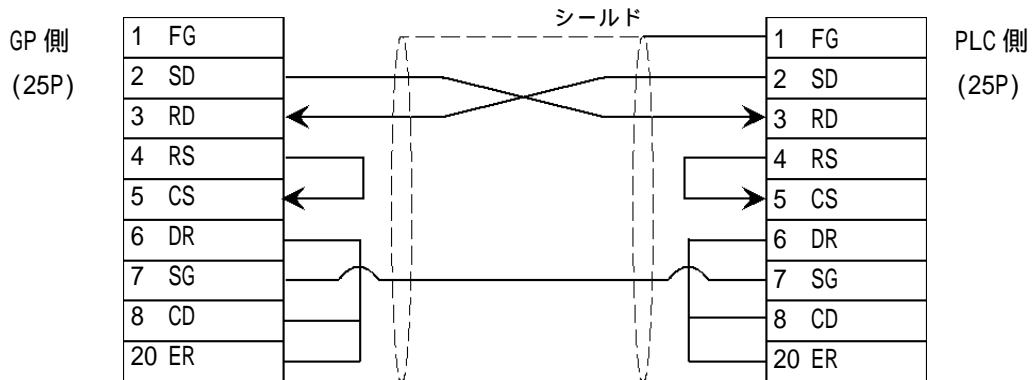


- ・ 接続ケーブルとして日立電線製 CO-SPEV-SB (A) 3P\*0.5SQ ツイストペアケーブルを推奨します。
- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100Ωの終端抵抗が挿入されます。
- ・ ケーブル長につきましては和泉電気(株)のマニュアルを参照してください。

< 結線図 3 > RS-232C

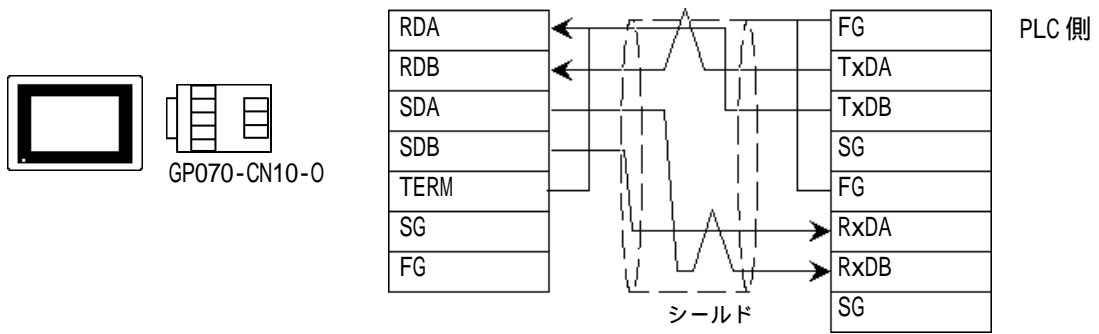
**重要**

- ・ ケーブル長は15m以内にしてください。

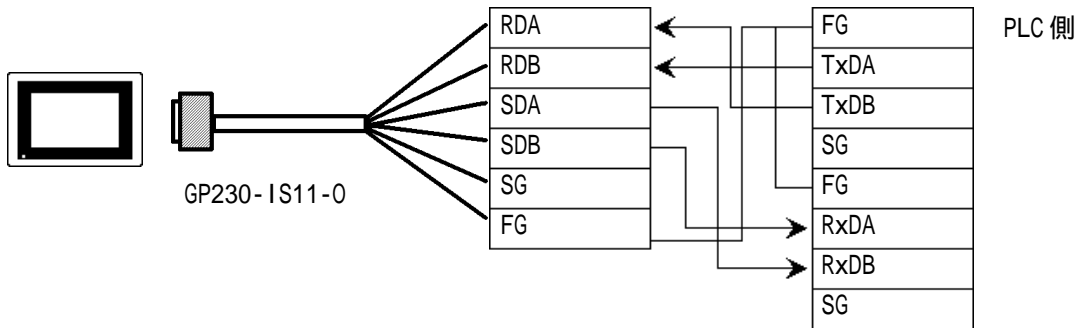


< 結線図 4 > RS-422

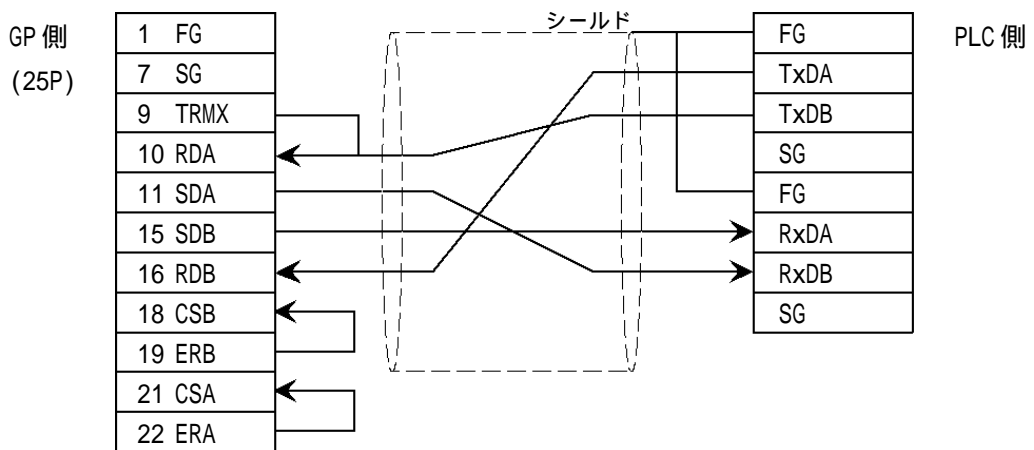
- ・ (株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



- ・ ケーブルを加工する場合

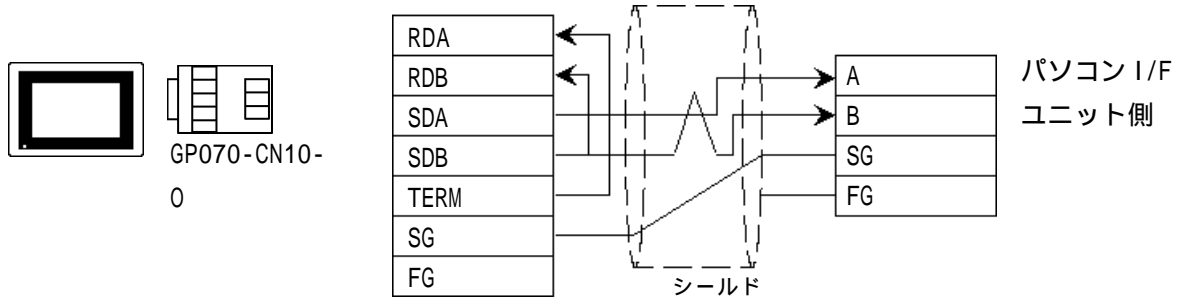


- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100Ωの終端抵抗が挿入されます。
- ・ ケーブル長につきましては和泉電気(株)のマニュアルを参照してください。

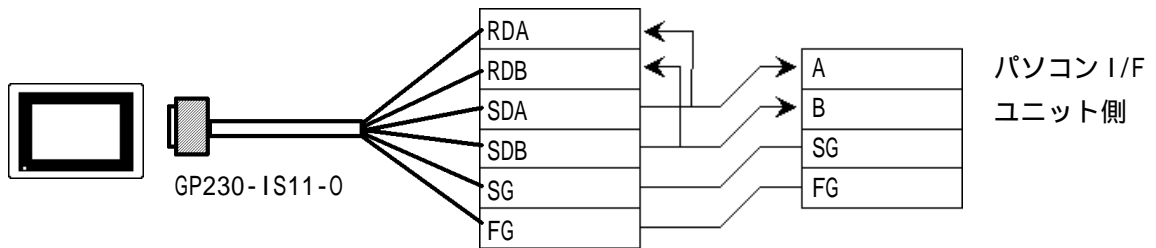


< 結線図 5 > RS-422

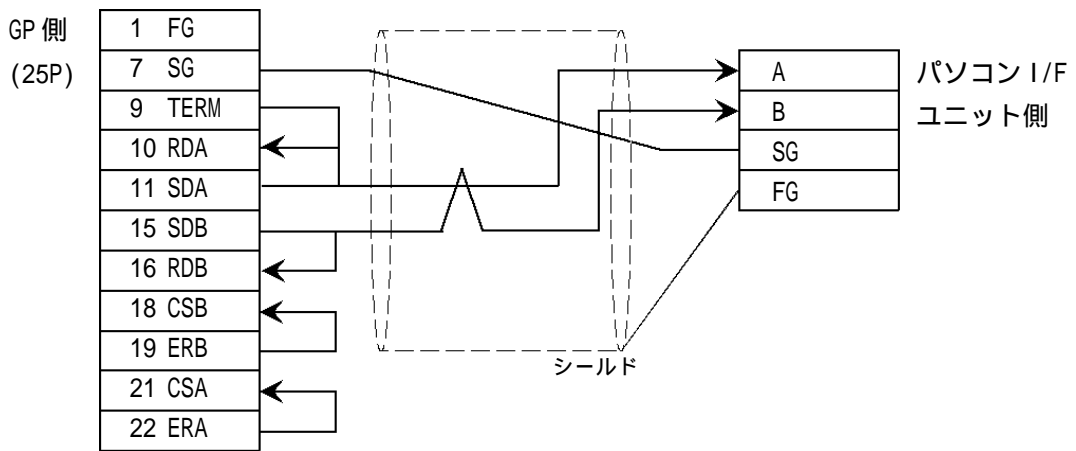
- ・ (株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・ (株) デジタル製 RS-422 ケーブル GP230-IS11-0 を使用する場合



- ・ ケーブルを加工する場合



- ・ GP側シリアルI/Fの9番ピンと10番ピンを接続することにより、RDA-RDB間に100Ωの終端抵抗が挿入されます。
- ・ ケーブル長につきましては和泉電気(株)のマニュアルを参照してください。

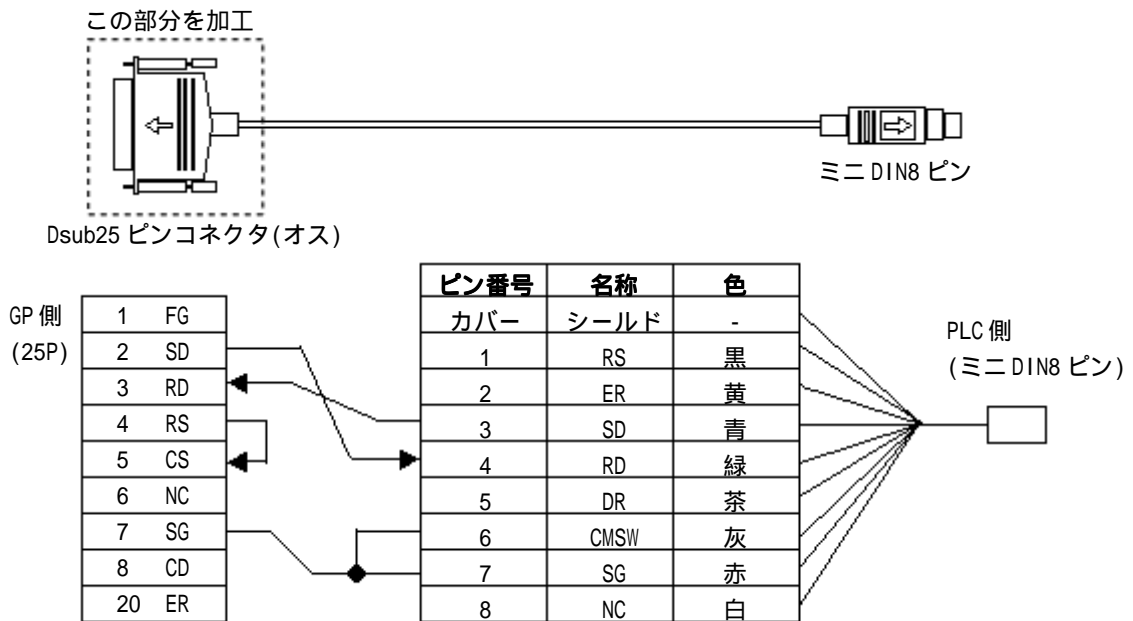
## &lt; 結線図 6 &gt; RS-232C

**重要**

- ・ RS-232C 接続の場合は、和泉電気(株)製のケーブルをご使用ください。
- ・ 5mを超えて接続する場合には、RS-422接続にて対応してください。参照 < 結線図 8 >

- ・和泉電気(株)製通信ケーブル(型番:FC2A-KP1C)を使用する場合

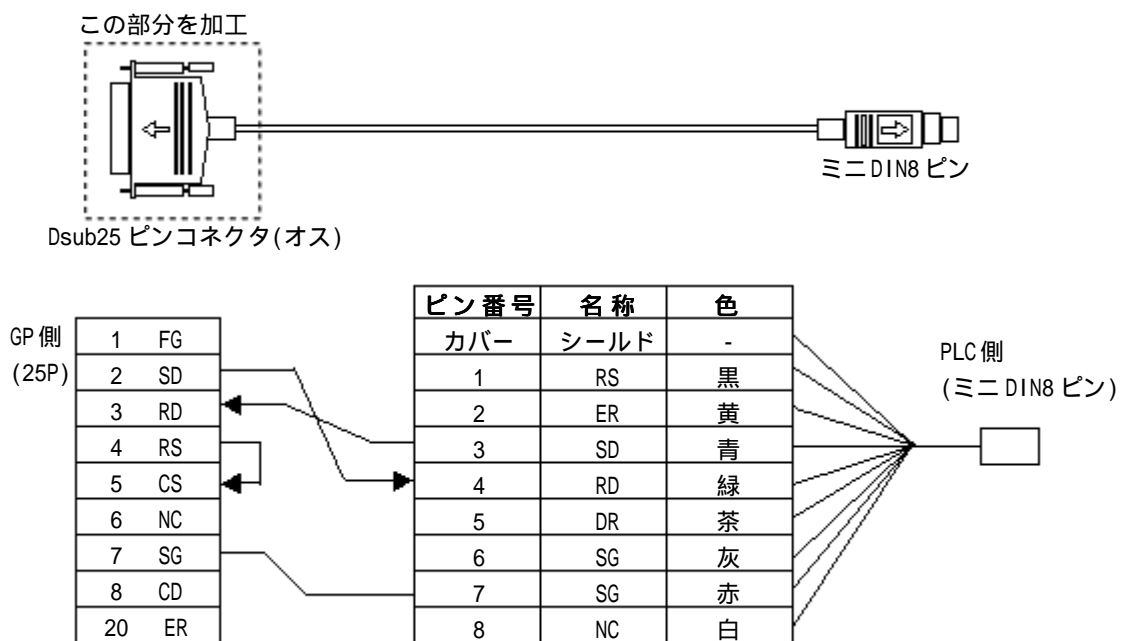
GP 側をユーザ様で加工する必要があります。Dsub25 ピンコネクタ(オス)を下図の通り通信ケーブルと接続してください。



< 結線図 7 > RS-232C

- 重要**
- ・ RS-232C 接続の場合は、和泉電気(株)製のケーブルをご使用ください。
  - ・ 5mを超えて接続する場合には、RS-422接続にて対応してください。参照 MICROS<sub>mart</sub> FC4A シリーズ< 結線図 8 >、オープンネットコントローラ FC3 シリーズ< 結線図 10 >

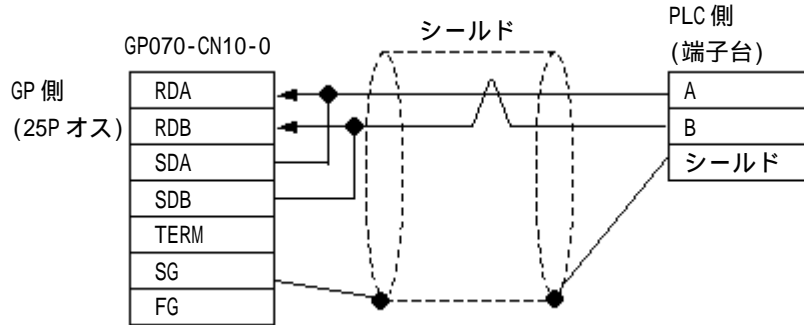
- ・ 和泉電気(株)製通信ケーブル(型番:FC2A-KP1C)を使用する場合  
GP 側をユーザ様で加工する必要があります。Dsub25 ピンコネクタ(オス)を下図の通り通信ケーブルと接続してください。



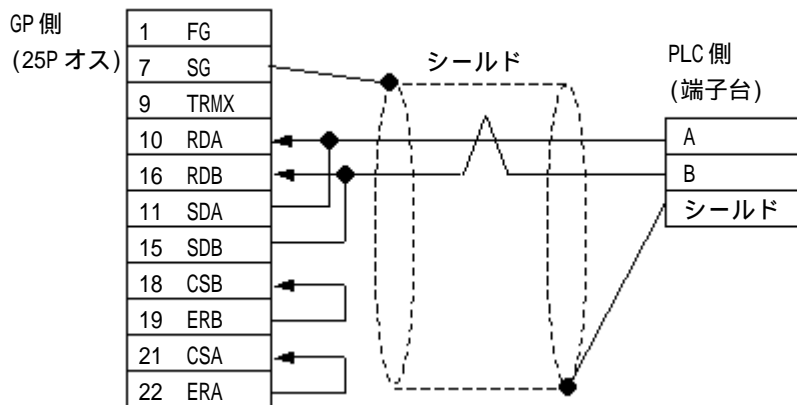
## &lt; 結線図 8 &gt; RS-422 (2線式)

- 重要**
- ・ MICROSmart の RS-485 通信ボード FC4A-PC3(端子台タイプ)用ケーブル：断面積 0.3mm の 2 芯 1 対ツイストペアケーブル
  - ・ ケーブル長は 200m 以内にしてください。
  - ・ 終端抵抗は接続しないでください。接続した場合は正常に動作しない場合があります。

・(株) デジタル製 RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



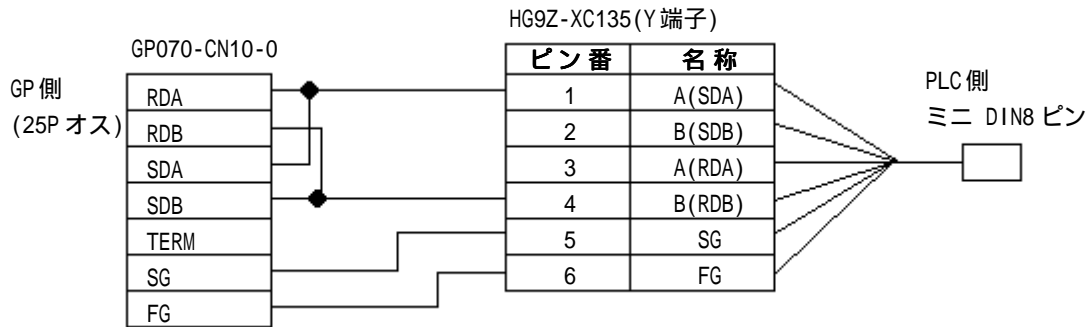
・ケーブルを加工する場合



< 結線図 9 > RS-422 (2線式)

**重要** ・ 終端抵抗は接続しないでください。接続した場合は正常に動作しない場合があります。

・ 和泉電気(株)製ケーブルHG9Z-XC135を使用する場合

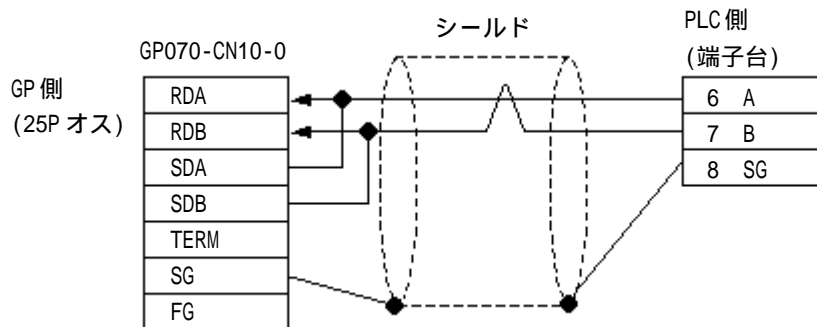


- ・ PLC側の1番ピンと3番ピン、2番ピンと4番ピンは内部で接続されています。
- ・ HG9Z-XC135端子2、3は使用しません。絶縁テープなどでマスキングしてください。

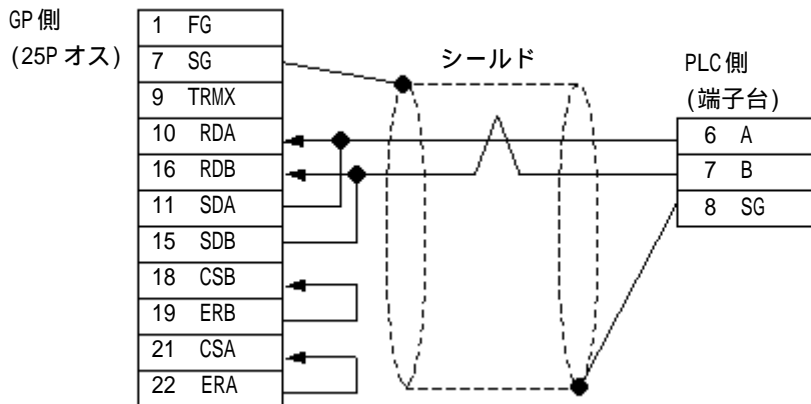
## &lt; 結線図 10 &gt; RS-422 (2線式)

**重要**

- ・ オープンネットコントローラのRS-485ポート推奨ケーブル:  
0.9シールド付きツイストペア線 (例:日本電線工業 CPEV-NC-SB1P)
  - ・ ケーブル長は200m以内になしてください。
  - ・ 終端抵抗は接続しないでください。接続した場合は正常に動作しない場合があります。
- ・(株)デジタル製RS-422 コネクタ端子台変換アダプタ GP070-CN10-0 を使用する場合



- ・ケーブルを加工する場合



## 2.15.3 使用可能デバイス

GP でサポートしているデバイスの範囲を示します。

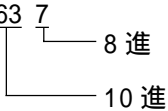
FA シリーズ

  は、システムエリアに指定可能

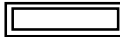
| デバイス           | ビットアドレス      | ワードアドレス       | 備考  |
|----------------|--------------|---------------|---|
| 入力リレー          | X000 ~ X637  | WX00 ~ WX63   | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 2</span> L/H |
| 出力リレー          | Y000 ~ Y637  | WY000 ~ WY63  | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 2</span>     |
| 内部リレー          | M000 ~ M2557 | WM000 ~ WM255 | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 2</span>     |
| シフトレジスタ        | R000 ~ R223  | WR000 ~ WR223 | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">÷ 16</span>    |
| タイマ(接点)        | T000 ~ T255  | —————         | *1  |
| タイマ10msec(接点)  | H000 ~ H079  | —————         | *1  |
| カウンタ(接点)       | C000 ~ C255  | —————         | *1  |
| タイマ(設定値)       | —————        | TS000 ~ TS255 |   |
| タイマ(現在値)       | —————        | T000 ~ T255   | *1  |
| タイマ10msec(現在値) | —————        | H000 ~ H079   | *1  |
| カウンタ(設定値)      | —————        | CS000 ~ CS255 |   |
| カウンタ(現在値)      | —————        | C000 ~ C255   | *1  |
| データレジスタ        | —————        | D0000 ~ D2989 | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span>  |
| コントロールレジスタ     | —————        | D3000 ~ D3071 | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</span>  |

\*1 データの書き込みはできません。

**強制** ・ 入力リレー、出力リレー、内部リレーのビットアドレスの入力は10進8進で行ってください。

<例> X63 7  


その他のデバイスは、10進で設定してください。

MICRO<sup>3</sup> (マイクロキューブ)
 は、システムエリアに指定可能

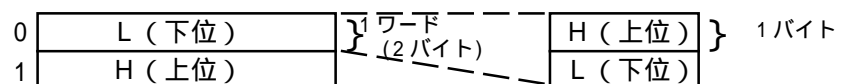
| デバイス      | ビットアドレス        | ワードアドレス       | 備考  | L/H |
|-----------|----------------|---------------|---|-----|
| 入力リレー     | x0000 ~ x00037 | X0000 ~ X0002 |  |     |
| 出力リレー     | y0000 ~ y00037 | Y0000 ~ Y0002 |  |     |
| 内部リレー     | m0000 ~ m00277 | M0000 ~ M0026 |  |     |
| シフトレジスタ   | r0000 ~ r0063  | R0000 ~ R0048 |  |     |
| タイマ(接点)   | T0000 ~ T0031  | —————         | *1*2  |     |
| カウンタ(接点)  | C0000 ~ C0031  | —————         | *1*2  |     |
| タイマ(設定値)  | —————          | T0000 ~ T0031 | *2  |     |
| タイマ(計数値)  | —————          | t0000 ~ t0031 | *2  |     |
| カウンタ(設定値) | —————          | C0000 ~ C0031 | *2  |     |
| カウンタ(計数値) | —————          | c0000 ~ c0031 | *2  |     |
| データレジスタ   | —————          | D0000 ~ D0099 |  |     |

\*1 データの書き込みはできません。

\*2 タイマ、カウンタは合計で32点まで使用できます。



- ・ 入力リレーの範囲は、基本ユニットの入出力点数に依存します。
- ・ ビットアドレスのあるデバイス(入力リレー、出力リレー、内部リレー、シフトレジスタ)のアドレスの上下関係は、次のとおりです。

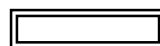




- 強制** ・ 入力リレー、出力リレー、内部リレーのビットアドレスの入力は10進8進で行ってください。

<例> 「m0002 7」  
 10進 ——— 8進



## MICROSmart FC4A シリーズ

 システムエリアに指定可能

| デバイス              | ビットアドレス       | ワードアドレス         | 備考  |
|-------------------|---------------|-----------------|---|
| 入力                | X0000 ~ X0307 | X000 ~ X030     |  *1 *4 |
| 出力                | Y0000 ~ Y0307 | Y000 ~ Y030     |  *1 *4 |
| 内部リレー             | M0000 ~ M1277 | M000 ~ M126     |        |
| 特殊内部リレー           | M8000 ~ M8157 | M800 ~ M814     |        |
| シフトレジスタ           | R0000 ~ R0127 | R0000 ~ R0112   |        |
| タイマ(接点)           | T0000 ~ T0099 | —————           | *1 *2   |
| カウンタ(接点)          | C0000 ~ C0099 | —————           | *1 *2   |
| タイマ(設定値)          | —————         | T0000 ~ T0099   |   |
| タイマ(計数値)          | —————         | t 0000 ~ t 0099 |   |
| カウンタ(設定値)         | —————         | C0000 ~ C0099   |   |
| カウンタ(計数値)         | —————         | c0000 ~ c0099   |   |
| データレジスタ           | —————         | D0000 ~ D1299   |  L/H |
| 特殊データレジスタ         | —————         | D8000 ~ D8199   |      |
| 拡張データレジスタ         | —————         | D2000 ~ D7999   |  *4  |
| タイマ/カウンタ<br>設定値確定 | —————         | Q0 *3           | —   |

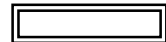
\*1 データの書込みはできません。

\*2 書き込みされると、上位通信エラー(02:FB)が表示します。

\*3 Q0は仮想デバイスです。タイマ/カウンタ設定値を不揮発性メモリへ書込むための専用デバイスです。Q0に任意なデータを書込むことで、変更を行ったタイマ/カウンタの設定値内容を不揮発性メモリに書込みます。不揮発性メモリへの書き込みは、RAMバックアップのバッテリー充電切れなどでデータが消えるのを防ぐ場合などにご使用ください。ただし、不揮発性メモリへの書込みを行うとラダーのスキャンタイムが延びるため、タイマ/カウンタの設定値変更時に毎回このデバイスの書込みを行わないように注意してください。また、このデバイスは読出しできません。

\*4 各デバイスの使用範囲はご使用のCPUによって異なります。ご使用になれる前に各CPUのマニュアルでご確認ください。

## オープンネットコントローラ FC3 シリーズ

 システムエリアに指定可能

| デバイス      | ビットアドレス       | ワードアドレス        | 備考  |  |
|-----------|---------------|----------------|---|--|
| 入力        | X0000 ~ X0597 | X000 ~ X058    |  2 <sup>*1</sup> |  |
| 出力        | Y0000 ~ Y0597 | Y000 ~ Y058    |  2               |  |
| 内部リレー     | M0000 ~ M2557 | M000 ~ M254    |  2               |  |
| 特殊内部リレー   | M8000 ~ M8237 | M800 ~ M822    |  2               |  |
| シフトレジスタ   | R0000 ~ R0255 | R0000 ~ R0240  |  16              |  |
| タイマ(接点)   | T0000 ~ T0255 | —————          | <sup>*1</sup> <sup>*2</sup>   |  |
| カウンタ(接点)  | C0000 ~ C0255 | —————          | <sup>*1</sup> <sup>*2</sup>   |  |
| タイマ(設定値)  | —————         | T0000 ~ T0255  | L/H   |  |
| タイマ(計数値)  | —————         | t 0000 ~ t0255 |   |  |
| カウンタ(設定値) | —————         | C0000 ~ C0255  |   |  |
| カウンタ(計数値) | —————         | c0000 ~ c0255  |   |  |
| データレジスタ   | —————         | D0000 ~ D7999  |   |  15                 |
| 特殊データレジスタ | —————         | D8000 ~ D8999  |   |  15                |
| リンクレジスタ   | —————         | L0100 ~ L1317  |   |  15 <sup>*3</sup> |

\*1 データの書込みはできません。

\*2 書きこみされると、上位通信エラー(02:FB)が表示します。

\*3 リンクレジスタLデバイスの制限

作画ソフトでは、ワードアドレスの下1桁目が10進数で0～9まで入力できますが、PLCのアドレスは0～7までしか使用できません。また、L0728～L0999の範囲を設定することができますが、PLC側で存在しない範囲のため使用はできません。タグの設定では、以下の設定に注意してください。

## A) 読出しの場合

タグで存在しないアドレスを設定するか、もしくは存在しないアドレスを含んだ読み出しを行った場合は、GPで「上位通信エラー(02:06)」の通信エラーが表示されます。

例: NタグでワードアドレスL0108を設定した場合。

SタグでワードアドレスL0100を設定し、表示文字数を20文字にした場合。

## B) 書込みの場合

タグで存在しないアドレスを設定するか、もしくは40ワードを超えるブロック書込みを行った場合は、GPで「上位通信エラー(02:06)」の通信エラーが表示されます。

例: TタグでワードアドレスL0108を設定した場合。

Dスクリプトのメモリコピー機能でコピー先ワードアドレスをL0100に設定し、アドレス数を41に設定した場合。

C) タグの複数コピーをする場合

タグの複数コピーを行った場合、コピー数により存在しないアドレスが設定される場合がありますので設定後のアドレスの確認をしてください。

例: NタグでワードアドレスL0100を設定し、複数コピーでコピー数10とした場合、L0100～L0109までのアドレスが設定されます。この場合、L0108とL0109が範囲外の設定となります。

参照 リンクレジスタの使用可能なアドレス範囲及び詳細につきましては、和泉電気(株)製オープンネットコントローラFC3シリーズインストラクションマニュアルを参照してください。

## 2.15.4 環境設定例

(株)デジタルが推奨するPLC側の通信設定と、それに対応するGP側の通信設定を示します。

### FAシリーズ(シリアルインターフェイスモジュール使用の場合)

| GPの設定                |          | シリアルインターフェイスモジュールの設定 |          |
|----------------------|----------|----------------------|----------|
| 伝送速度                 | 19200bps | 伝送速度                 | 19200bps |
| データ長                 | 8bit     | データビット               | 8bit     |
| ストップビット              | 1bit     | ストップビット              | 1bit     |
| パリティビット              | 偶数       | パリティビット              | 偶数       |
| 制御方式                 | ER制御     | _____                |          |
| 通信方式<br>(RS-232C使用時) | RS-232C  | _____                |          |
| 通信方式<br>(RS-422使用時)  | 2線式      | _____                |          |
| 号機No.                | 0        | デバイス番号               | 0        |

### FAシリーズ(CPU直結の場合)

| GPの設定                |         | PLC側の設定 |         |
|----------------------|---------|---------|---------|
| 伝送速度                 | 9600bps | 伝送速度    | 9600bps |
| データ長                 | 8bit    | データビット  | 8bit    |
| ストップビット              | 1bit    | ストップビット | 1bit    |
| パリティビット              | 偶数      | パリティビット | 偶数      |
| 制御方式                 | ER制御    | _____   |         |
| 通信方式<br>(RS-232C使用時) | RS-232C | _____   |         |
| 通信方式<br>(RS-422使用時)  | 4線式     | _____   |         |
| 号機No.                | 0       | デバイス番号  | 0       |

MICRO<sup>3</sup> (マイクロキューブ)

| GPの設定                                       |         | ローダポートの設定 |         |
|---|---------|-----------|---------|
| 伝送速度  | 9600bps | 伝送速度      | 9600bps |
| データ長  | 7bit    | データビット    | 7bit    |
| ストップビット                                     | 1bit    | ストップビット   | 1bit    |
| パリティビット                                     | 偶数      | パリティビット   | 偶数      |
| 制御方式  | ER制御    | _____     |         |
| 通信方式<br>(パソコンリンクI/F<br>ケーブルFC2A-KC1<br>使用時) | RS-232C | _____     |         |
| 通信方式<br>(RS-422使用時)                         | 2線式     | _____     |         |
| 号機No.                                       | 0       | 局番        | 0       |



- ・ 上記のPLC側の設定は、基本設定モードの設定と同じです。GPやローダと接続する場合は、基本設定モード(モード切替入力番号の端子がOFFの状態)で通信できます。通信設定を変更するときは、任意設定モード(モード切り替え入力番号の端子がONの状態)にしてください。

## MICROSmart FC4A シリーズ

| GPまたはGLCの設定          |          | PLCの設定   |          |
|----------------------|----------|----------|----------|
| 伝送速度                 | 9600 bps | ポート通信速度  | 9600 bps |
| データ長                 | 7 bit    | データ長     | 7 bit    |
| ストップビット              | 1 bit    | ストップビット  | 1 bit    |
| パリティビット              | 偶数       | パリティビット  | 偶数       |
| 制御方式                 | ER制御     | _____    | _____    |
| 通信方式<br>(RS-232C使用時) | RS-232C  | _____    | _____    |
| 通信方式<br>(RS-485使用時)  | 2線式      | _____    | _____    |
| 号機番号                 | 0        | 通信デバイス番号 | 0        |
| _____                | _____    | ポートの通信種類 | メンテナンス通信 |
| _____                | _____    | 通信切替入力   | 設定なし     |

## オープンネットコントローラ FC3 シリーズ

| GPまたはGLCの設定          |          | PLCの設定                      |                 |
|----------------------|----------|-----------------------------|-----------------|
| 伝送速度                 | 9600 bps | ポート通信速度                     | 9600 bps        |
| データ長                 | 7 bit    | データ長                        | 7 bit           |
| ストップビット              | 1 bit    | ストップビット                     | 1 bit           |
| パリティビット              | 偶数       | パリティビット                     | 偶数              |
| 制御方式                 | ER制御     |                             | _____           |
| 通信方式<br>(RS-232C使用時) | RS-232C  |                             | _____           |
| 通信方式<br>(RS-485使用時)  | 2線式      |                             | _____           |
| 号機番号                 | 0        | 通信デバイス番号<br>DIP-SW4~8       | 0               |
| _____                | _____    | RS-485通信モード<br>DIP-SW1      | OFF<br>(メンテナンス) |
| _____                | _____    | RS-232Cポート1通信モード<br>DIP-SW2 | OFF<br>(メンテナンス) |
| _____                | _____    | RS-232Cポート2通信モード<br>DIP-SW3 | OFF<br>(メンテナンス) |
| _____                | _____    | 通信切替入力                      | 設定なし            |

### モニタ登録の設定

オープンネット FC3シリーズを使用する場合、モニタ登録機能を使用することができます。この機能を使用することによって、画面上の不連続アドレスを一括(最大40ワード)で読出すことができます。マルチポート接続やパソコンと一緒に接続した時などにもこの機能が使えます。GPのオフラインモードの「動作環境の設定」画面、または、画面作成ソフト(GP-PRO/PB for Windows)の「GPシステムの設定」の「モード設定」でモニタ登録の設定を行ってください。参照 オフラインモードについては、各GPユーザズマニュアル オフラインモードをご参照ください。



- ・ MICROSmart FC4A シリーズはモニタ登録機能は使用できません。必ず「無」の設定にしてください。モニタ登録の設定を「有」にして通信した場合は、上位通信エラー(02:03)となります。  
参照 本マニュアル 2.15.4 エラーコード
- ・ デフォルトは「無」の設定になっています。
- ・ GP機種によって「動作環境の設定」画面は異なります。下図を参照してモニタ登録の設定を行ってください。

#### <GPH70/GP-270/GP-370/GLC100 シリーズ>

| 動作環境の設定 |            | 設定                   | 取消 |
|---------|------------|----------------------|----|
| システムエリア | 先頭デバイス     | <input type="text"/> |    |
|         | 先頭アドレス     | <input type="text"/> |    |
|         | 号機No.      | <input type="text"/> |    |
| システムエリア | 読み込みエリアサイズ | <input type="text"/> |    |
|         | モニタ登録      | 無                    |    |

#### <GP-470/GP-570/GP-675/GP-870 シリーズ>

| 動作環境の設定 |                    |   |   |
|---------|--------------------|---|---|
| システムエリア | 先頭アドレス             | [ | ] |
|         | 号機No.              | [ | ] |
| システムエリア | 読み込みエリアサイズ (0-256) | [ | ] |
|         | モニタ登録              | 無 | 有 |

<GP-377/GP-377R/GP-2300/GLC-2300 シリーズ>

動作環境メニュー画面で、「動作環境の設定2」をタッチして「動作環境の設定2」画面でモニタ登録の設定を行ってください。

|                        |
|------------------------|
| メイン / 初期設定 / 動作環境 メニュー |
| 動作環境の設定1               |
| 動作環境の設定2               |

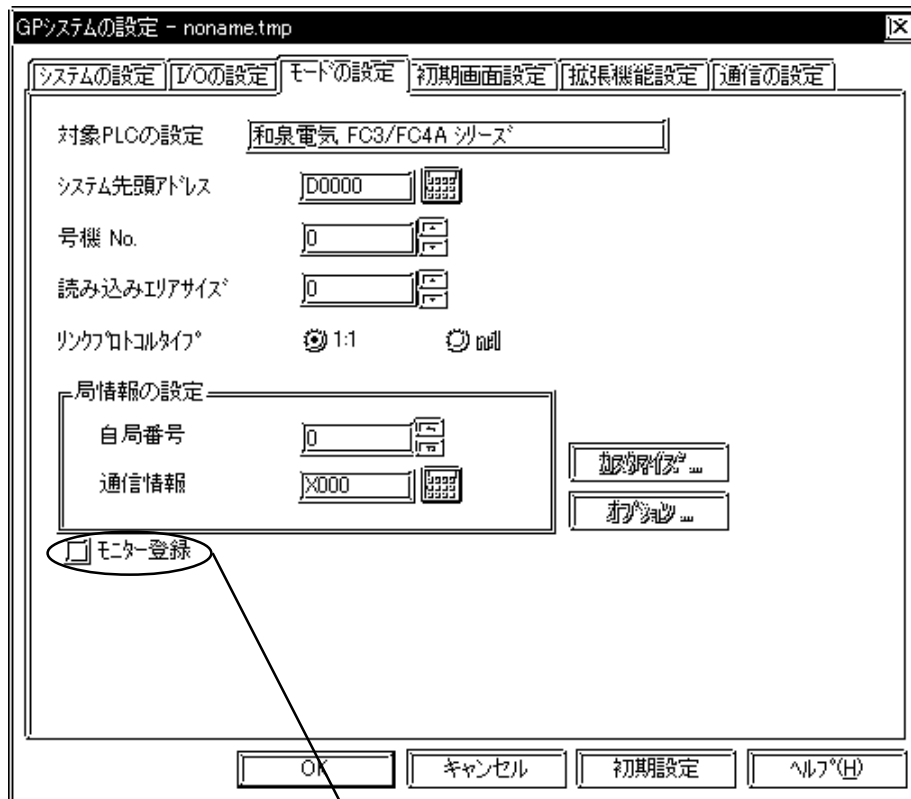
|          |    |    |
|----------|----|----|
| 動作環境の設定2 | 設定 | 取消 |
| モニタ登録    | 無  |    |

<GP-477R/GP-577R/GP-2000/GLC300/GLC2000 シリーズ>

|                            |   |   |
|----------------------------|---|---|
| 動作環境の設定                    |   |   |
| システムエリア先頭アドレス              | [ | ] |
| 号機No.                      | [ | ] |
| システムエリア 読み込みエリアサイズ (0-256) | [ | ] |
| 書き込みエラー時のGPリセット            | 無 | 有 |
| モニタ登録                      | 無 | 有 |



- ・画面作成ソフト(GP-PRO/PB for Windows)での設定  
「GPシステムの設定」の「モード設定」でモニタ登録をの設定を行います。デフォルトはモニタ登録なしです。



ここでモニタ登録の設定を行います。

## 2.15.5 エラーコード

### PLC 特有のエラーコード

MICROSmart FC4A シリーズ / オープンネットコントローラ FC3 シリーズ

PLC 特有のエラーコードは通信エラーコードと NG コードの 2 種類あります。通信エラーは伝送手順の途中で発生したエラーを表しています。NG エラーはリクエストメッセージ処理後に発生したエラーを表し、NG コードは基本ユニットに対するエラーコードとなります。通信エラーコード、NG エラーコードは GP の画面左下に「上位通信エラー (02:\*\*)」のように表示されます。(\*\* は PLC 特有のエラーコードです。)

#### ・通信エラーコード

| エラーコード | エラー名称      | 説明                                    |
|--------|------------|---------------------------------------|
| 00     | BCCエラー     | 付加されたBCCコードと受信データのBCC計算値が不一致          |
| 01     | フレームエラー    | 受信したビット数が設定と異なります。<br>(ストップビットが“0”)   |
| 02     | データ送受信エラー  | パリティエラー、オーバーランエラーなどが発生しました。           |
| 03     | コマンドエラー    | サポートしていないリクエストメッセージを受信しました。           |
| 04     | 手順/データ数エラー | 待ち状態(データ数を含む)と一致しないリクエストメッセージを受信しました。 |

#### ・NG コード

| エラーコード | エラー名称                    | 説明   |
|--------|--------------------------|--|
| 06     | データ範囲エラー                 | 指定したデータの範囲が不適當です。                                |
| 07     | タイマ/カウンタ設定値変更エラー         | 間接指定(DR)に対して設定値を変更しようとした。                        |
| 10     | データエラー                   | “0”(30h)～“9”(39h)、“A”(40h)～“F”(45h)以外のデータがありました。 |
| 11     | 設定エラー<br>(オープンネットコントローラ) | テーブル番号が不適當(オペランド登録コマンド用)                         |
|        |                          | テーブル番号登録未設定(オペランド登録モニタコマンド用)                     |

参照 エラーコードの詳細は、和泉電気(株)製「MICRO<sup>3</sup> パソコンリンクシステム ユーザーズマニュアル」を参照してください。

MEMO

このページは、空白です。  
ご自由にお使いください。

